

2026年2月3日
株式会社エヌ・ピー・シー

トーエイ株式会社へ太陽光パネルリサイクル装置を納入

株式会社エヌ・ピー・シー（本社：東京都台東区、代表取締役社長：伊藤雅文）は、トーエイ株式会社（本社：愛知県東浦町、代表取締役社長：今津真治、以下「トーエイ社」）に対し、太陽光パネルリサイクル装置である、「フレーム・J-Box 分離装置」および「ガラス分離装置」を1月末に納入いたしました。

トーエイ社は、特種東海製紙（東証プライム上場）のグループ企業であり、「地球に正しい環境づくり」を環境理念に掲げ、産業廃棄物・一般廃棄物の収集運搬から中間処理・リサイクル・さらには建設業やインフラ維持管理まで、多角的な事業を展開している総合環境企業です。この度、新たな事業として、家電再商品化工場（愛知県常滑市）に当社の太陽光パネルリサイクル装置を設置し、太陽光パネルのリサイクル事業を開始されることなりました。

中間処理した太陽光パネルのカバーガラスについては、トーエイ社が取り組まれているガラスの再商品化事業において、リサイクルガラス造粒砂「サンドウエーブ G」として再利用していく計画です。その中で、高純度でガラスを分離できる当社のホットナイフ分離法®が高く評価され、今回の装置導入に至りました。

太陽光パネルの排出量は、電力固定価格買取制度（FIT）の買い取り期間が終了する 2035～2037 年頃にピークを迎えると予測されています。特に、重量の 6～7 割を占めるガラスのリサイクルは喫緊の課題です。ガラスを再資源化するためには高純度での回収が不可欠であり、それを実現できるホットナイフ分離法は、近年業界内で注目が高まっています。

当社では、より多くの皆さんに装置や技術を知っていただき、導入企業の拡大につなげるべく、日本最大のガラスマーカーである AGC 株式会社との連携（AGC 社は当社の技術で分離したガラスを水平リサイクルしています。その取り組みは[こちら](#)もご覧下さい）や、展示会出展を含めた営業活動を引き続き強化してまいります。なお、今回納入したパネルリサイクル装置の一部は、当社ホームページでもご覧いただけます。[→ こちら](#)

また、今回納入した装置は 2026 年 2 月より稼働開始を予定しており、トーエイ社で竣工式が執り行われる予定です。その詳細につきましては、トーエイ社のリリースをご覧ください。[→ こちら](#)

■ トーエイ社の概要

社名	トーエイ株式会社
所在地	愛知県知多郡東浦町大字藤江字ヤンチャ 28 番地の 1
代表者	代表取締役社長 今津真治
事業内容	廃棄物の収集運搬から中間処理、リサイクル、インフラのメンテナンス等
資本金	50,000,000 円
設立年月日	1961 年 4 月 1 日
その他	特種東海製紙(東証プライム上場)グループ

News Release



■製品・サービスに関するお問い合わせ先

営業部 TEL: 03-5817-8830

Mail: pv.sales@npcgroup.net

■本リリースに関するお問い合わせ先

総務部 IR 担当 TEL: 03-6240-1206

Mail: ir@npcgroup.net